

エコアクション 21 環境経営レポート

(2020年06月01日～2021年05月31日)

2021年07月31日
徳山産業株式会社

CONTENTS

I.事業活動の概要	1
II.環境経営方針	2
III.環境経営目標と環境経営計画	3.4.5
1. 環境経営目標とその実績	
2. 二酸化炭素排出量の実績	
3. 環境経営計画及び取組み結果とその評価	
4. 2020年度の環境経営目標及び環境経営計画	
IV.環境関連法規制等の遵守状況	5
V.代表者の全体評価と見直しの結果	5

I 事業活動の概要



概要

- 事業者名
徳山産業株式会社
- 代表者名
代表取締役 池田 恭二郎
- 住所及び連絡先
〒731-1504
広島県山県郡北広島町寺原 3687
電話番号 0826-72-2294

- 環境管理責任者
取締役工場長 梅田 忠文
- 事業内容
自動車用ゴム部品、
及びその他工業用ゴム製品の
製造販売

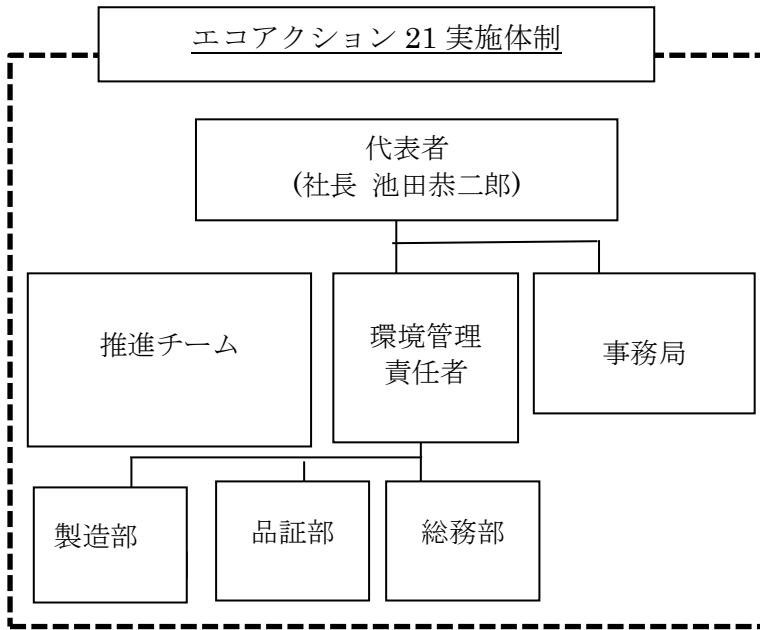
- 設立
昭和 42 年 12 月

事業の規模

- 資本金 1,000 万円
- 売上高 323 百万円
(2020 年 06 月 01 日～2021 年 05 月 31 日)
- 従業員 41 名
- 延べ床面積 1118 ㎡

対象範囲

- 本社・工場



役割・責任・権限

- 代表者
 - ・ EA21 システムの統括
 - ・ 経営における課題とチャンスの明確化
 - ・ 環境経営方針の策定
 - ・ 実施体制の構築
 - ・ 全体の評価と見直し
- 環境管理責任者
 - ・ EA21 システムの構築・統括
 - ・ 上記状況の代表者への報告
- 事務局
 - ・ 環境管理責任者の補佐
- 推進チーム
 - ・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画の従業員への周知
 - ・ 環境負荷の把握
- 各部門長
 - ・ 各部門に関連する環境経営計画の実行等 EA21 システムの運用
- 従業員
 - ・ 環境経営方針や各自の役割を理解し環境経営に取り組む

Ⅱ 環境経営方針

【基本理念】

当社は、従業員の豊かな生活の実現と社会の発展に寄与し、企業の社会的責任を果たすため、地球温暖化など環境問題が人類共通の課題であることを認識し、事業活動をとおして積極的に環境保全活動に取り組みます。

【行動指針】

1. 適用される環境関連法規制や顧客要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定めその達成に向けて活動するとともに、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取組として、次のことを推進します。
 - (1) 省資源及び省エネルギー
 - (2) 改善活動と顧客満足度の向上
 - (3) 地域環境に配慮した業務運営

制定日：2008年08月26日

改定日：2018年07月11日

徳山産業株式会社

代表取締役 池田恭二郎

Ⅲ 環境経営目標と環境経営計画

1. 2020年度の環境経営目標とその実績

(1) 環境経営目標

項 目	単位	基準	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /年	384,224 2019年	380,382 (1%減)	376,539 (2%減)	372,697 (3%減)
産業廃棄物排出量の削減	t/年	2017年 26.25	25.5 (3%減)	25.2 (4%減)	24.9 (5%減)
一般廃棄物の削減（排出袋の削減）	袋/年	2019年 379	375 (1%減)	371 (2%減)	367 (3%減)
改善活動の推進	件/年	48	48	48 (効果測定実施可能分)	48
クレームの削減	件/年	0	0件	0件	0件
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	2回	2回	2回
(備考)					
1. 製品の脱脂用として使用しているトルエンなど少量の化学物質は、適切に管理していることを定期的に確認することとしています。					
2. 水（地下水）は、ほとんどが製造機械冷却水であり自らの判断で削減することが困難です。そのほか生活排水の節水も定着していることから、削減目標は設定せず、使用量の把握と節水の状況を確認・評価することとしています。					

(2) 環境経営目標の実績（2020年06月～2021年05月）

項 目	単 位	目 標 値	実 績	評価	
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /年	380,382	400,962	×	
産業廃棄物排出量の削減	t/年	25.5	29.9	×	
一般廃棄物の削減（排出袋の削減）	袋/年	375	366	○	
改善活動の推進	件/年	48	8	×	
クレームの削減	件/年	0	11	×	
事業所周辺の清掃活動	回/年	2	2	○	
化学物質使用量 (含有量)	ジクロロメタン	kg/年	—	59.40	—
	トルエン	kg/年	—	55.76	—
水使用量	m ³ /年	—	7,666	—	

2. 2020 年度の二酸化炭素排出量の実績

	2018 年度	2019 年度	2020 年度
総排出量 (kg-CO ₂ /年)	434, 195	384, 224	400, 962
売上当たりの排出量 (kg-CO ₂ /百万円)/年	1204	1129	1241

電力の CO₂ 排出係数適用数値・・・

今年度分及び過去年度分とも環境省・経済産業省公表の H30 年(2018 年)度調整後排出係数を適用
 サミットエネルギー 0.524 (kg-CO₂/kWh)

CO₂ 排出量…電力：386, 613 kg-CO₂/年 ガソリン：4, 902 kg-CO₂/年

軽油：2, 972 kg-CO₂/年 灯油：6, 270 kg-CO₂/年 他 205 kg-CO₂/年

3. 2020 年度の環境経営計画及び取組結果とその評価

環境経営計画	取組結果と評価
<u>二酸化炭素排出量の削減</u> ・CO ₂ 排出係数の低い業者の選定 <u>電力削減</u> ・空調温度管理の徹底 ・省エネルギー省資源の呼びかけの徹底 <u>化石燃料(ガソリン他)の削減</u> ・異常消費の削減・管理の強化	* 業者選定並びにソーラーの調査実施を引き続き進めていく。 * 働く環境改善と電力削減が相反し、なかなか効果が出ないが、引き続き省エネ品や電気を使わず改善する方法の検討を進める。 * 営業の活発化・新事業に関しては、効率的に進める様に IT ツールの活用や働き方改革の取り組みもより具体的に検討していく。
<u>産業廃棄物排出量の削減</u> ・不良率の低減 ・分別の徹底 ・指導管理の強化	年間を通じて日々、左記の削減の呼びかけや管理を継続実施しているが、目標に至らなかった。理由として生産量が増えたことが最大要因である。今後も不良低減・使用材料低減等の削減策を進めて行く。
<u>一般廃棄物排出量の削減</u> ・両面コピーの徹底 ・裏紙使用の徹底呼びかけ	良好。更にペーパーレス化に取り組む。
<u>改善活動の推進</u>	改善効果の検証できたもののみのカウントの為、数は少ないが、今後の取り組み次第では、効果は期待できる。
<u>クレームの削減</u>	課題の性格上目標値を 0 に設定した。結果は 11 件の発生となった。
<u>事業所周辺の清掃活動</u>	計画回数を達成した。今後も継続的に実施する。

4. 2021 年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標		環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 使用量の目標値	△2% 376,539kg-CO2/年	○工程ロスの削減 ○空調温度管理、他
産業廃棄物排出量の削減 排出目標値	△4% 25.2t/年	○不良率の低減 ○分別の徹底、他
一般廃棄物排出量の削減（対象：紙ごみ） 排出目標値	△2% 371 袋/年	○紙使用の削減呼び掛け ○裏紙使用の徹底呼び掛け
改善活動の推進 （効果測定実施可能分） 提出目標件数	48 件/年	○部門会議での結果報告 ○全体朝礼で提出呼び掛け
クレームの削減 発生日目標件数	0 件/年	○品質会議での結果報告
事業場周辺の清掃活動 実施目標	2 回/年	○地域環境活動 2 回

※2019 年度を基準値とする。

IV 環境関連法規制等の遵守状況

適用される主な環境関連法規制と遵守状況は以下の通りです。

適用される環境関連法規制	要求事項	遵守評価	備考
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理	○	
毒物劇物取締法	適正管理・表示	○	
フロン排出抑制法	業務用空調設備の簡易点検	○	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、ここ 3 年間における法令違反および苦情の発生はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘や訴訟もありませんでした。

V 代表者の全体評価と見直しの結果

2021 年度は、すべての項目に関して目標の見直しや実施内容の抜本改革が必要と感じている。作業環境の改善に関しても電力使用量に関しても今まで通りの考え方や取り組みでは、誰も徳がない。損得ではないが、意味のある活動で社員にもメリットが分かるような活動に変えて行く必要があると感じる。

☆ 2020年6月12日
地域の共有道草刈活動



☆ 2020年8月7日
地域の共有道草刈活動

